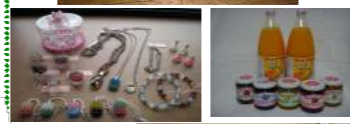
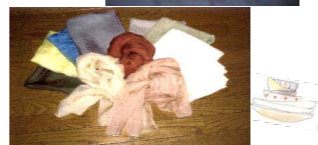


11/28開催 第10回 カタロ市の日 ショップオーナーさん募集

手づくり品を出して頂ける方を募集します。
興味のある方はどうぞカタロにお電話下さい！（下記をご覧ください。）
（パッチワーク・布小物・バック・陶器・かご・花・アクセサリー・カントリー
小物・プリザーブドフラワー・野菜・手づくりパンやおかし・・・etc）



開催日時：11月28日（日） 10:00~16:00
開催場所：カタロ1・2階 駐車場
募集店舗：20店舗
参加費：2000円
応募締切：9月10日（金）
申込先：カタロ 0297-60-1666



★毎年恒例となりました『カタロ市の日』でたくさんの出会いを楽しんで下さいね！

カタロにて

日時：8月23日（月） 14:00~16:00
28日（土） 13:00~15:00

体験 3,000円（全て込み）

★敬老の日のお祝い、還暦のお祝いに枯れないお花、
プリザーブドフラワーはいかがですか。
★オーダー承ります。

お問合せ・お申込み：

片岡 090-7267-4498
HP <http://p-f-cherie.petit.cc/>

カタロにて 韓国語講座

日時：7月12日（月） 26日（月）
8月 9日（月） 23日（月）
10:00~11:20

会費：3,500円

講師 邊 美仙
韓国ソウル出身。ソウルにて誠信女子大
を卒業後、筑波大学の大学院修士課程を
修了卒業。

お問合せ・お申込み

篠崎 080-5543-7489

おすすめ商品 今月の.com ドットコム

TOSHIBA
エアコン Dシリーズ
『RAS2510D』

省スペースで設置できる
シンプル&快適エアコン

窓の上も半間幅にも収まるコンパクトサイズ！



ムーンホワイト(W)

オープン価格

58,000円（税別）

限定3台！！

8畳用に最適！！

※設置工事費（既存撤去、新規設置、処分含む）

20,000円（税別）です。（冷媒配管3mまで）

※現場調査の上、御見積致します。お電話下さい！

北澤工務店が、数ある商品の中から選り
すぐったものを、どこよりも安い.com 価
格でご提供させていただきます。



カタロ通信

VOI.150

2010年 8月号

<http://www.e-kitazawa.com/>

㈱北澤工務店

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-7
TEL: 0297-60-1333
FAX: 0297-60-1311
e-mail: info@e-kitazawa.com

カタロ

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
TEL: 0297-60-1666
閉館日：水曜日
e-mail: kataro@e-kitazawa.com

甘味café 空~くろ~

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
TEL: 0297-63-0730
定休日：水曜日
e-mail: kuu@e-kitazawa.com

財団法人性能保証住宅登録機構加盟建設業許可茨城県知事（般-17）第22696号 宅地建物取引業者茨城県知事免許（3）第5344号



7月吉日 龍ヶ崎市I様邸『地鎮祭』を執り行いました。

…北澤工務店&甘味Cafe空~くろ~から…

8月空のミニショップは・・・『コシヨン』 あみぐるみ
『ミッシーズ』 布小物 です。

北澤工務店・甘味café空~くろ~・カタロは
8月13日（金）~8月18日（水）
までお休みさせていただきます。



おめでとうございます！ つくば市H様邸
完成引渡し式致しました！



『引渡し式』後、施主様、職人との集合写真です。



写真ではわかりづらいのですが通常はうち300角で貼る西ノ内和紙を今回初めて150角に細かくして貼りました。手間は数倍かかりましたが職人も自慢するほどステキに仕上がりました。



勾配天井の和ダイニングには、ハイサイドからの光が差し込みます。



おさむのひとりごと

草々にとっては『恵みの季節』といえる梅雨も明けました。いかがお過ごしですか。

ぼくはこのひとりごとの他に『おさむのブログ』というのをインターネット上でやっています。ここのところけっこう真面目に書いておまして、2月中旬から毎日欠かさず書いています。北澤工務店のホームページからご覧いただけますので、よろしかったらご覧下さい。

で先日こんなコメントをいただいたのです。

『こんにちは^^ いつもブログ拝見させていただいています。質問なのですが、「自分の娘に振袖を着せたような家づくり」のことに込められた思いを教えてくださいましたらお願いします。』

noriさんという、たぶんまだお会いしたことのない方からのものです。これまでもホームページや会社のパンフレットで何度となく書いてきた『自分の娘に振り袖を着せたような家づくり』ですが、たぶん『進化』していると思うんですね。noriさんからコメントをいただいて、自分のおなかの中からコンコンと湧き出てくるような感覚がある。

ということで今月はこの北澤工務店の『肝』を書いてみたいと思います。

中学時代級長を務めた父が家庭の事情により高校に行かせてもらうことができず、大工の丁稚奉公(でっちぼうこう)に出されました。15歳の丁稚はなかなか大工の仕事させてもらえません。親方の子供の子守、現場の掃除、米のり作り・・・雑用だったそうです。

やがて少しずつ仕事をさせてもらえるようになるのですが、それは『見て覚える』世界で、現代のように教えてもらうものではなく、盗むようにして仕事を覚えた、とのこと。

まともに仕事ができるようになってきた頃、親方から口ぐせのように言われたのです。『野郎、家はなあ、娘に晴れ着を着せてやるような気持ちで造るんだ』と。

実はその親方が小僧の頃、またその親方からも言われてきたのです。『野郎、家ってもんは、娘に晴れ着を着せてやるように造れ』と。

代々の棟梁が言葉として伝えてきた『棟梁口伝』それが『自分の娘に振り袖を着せたような家づくり』なのです。



北澤工務店を父から引き継いだのが2001年1月1日付け。もう10年になります。その時のぼくは父のやり方に反発ばかりしていて、『北澤工務店を変える!』ことに燃えていた。いま思えば恥ずかしいほど『変える』ことに燃えていた。

でも失敗を重ねるうちにわかってくるんですね。『変えなければならぬことと、変えてはならないことがある』ということ。

それが棟梁口伝『自分の娘に振り袖を着せたような家づくり』でした。

縁と縁がつながりあって、数多くの可能性の中から北澤工務店を選んでくださった施主様と契約。これは『結婚』と同じです。やがてその間に子供が生まれる。それを『娘』といった。そして初めてこの世に姿を現す誕生の瞬間が『上棟』です。ぼくは今でも身震いするほどこの瞬間が好き。



結婚もそうであるように、家づくりもなかなか完璧といわけにはいかない。問題が発生したり、夫婦喧嘩もあるかもしれ

ません。子供が病気をした、一等賞になった、反抗期になった、やさしい子、心配りのできる子・・・時間とともに成長していくわが娘。

娘に食べさせるなら、外食よりお家でも手づくりがいい。農薬いっぱいよりも無農薬のほうがいい。既製品で添加物いっぱいよりも自然のものがいい。お化粧品してブランドで身を固めるより、すっぴんでも性格がいいほうがいい。見た目も大切だけど中身が勝負!健康で丈夫で長持ちがいい・・・。



だから北澤工務店にとって『自然素材で家を作ること』『職人の技術で手づくりすること』は、当然なことなんです。ビニルクロスや新建材、カタログから選んでつくるような家づくりではないんです。

でも娘と同じように完璧というわけにはなかなかいかない。娘が時にはカップラーメンを食べるように、時には北澤工務店も合板を使い、既製品を使う。

それでもその背景には、娘に対する『祈り』がある。どうか、どうか、健康で幸せな人生を・・・という『祈り』がある。



やがてその手塩に掛けてきた娘が、いろいろな思い出と共に親元を離れるときが来る。それが引渡しです。

先日のことなんです。つくばのH様の引渡し式に向かう途中のこと。H様との家づくりが走馬灯のように駆け巡る。

H様と出会ったときのこと、初めてプランを提出した時のこと、ご契約をいただいたときのこと、上棟日のこと、でっかい問題が発生してそれを共に乗り越えてきたこと、何度もなんども打ち合わせを重ねてきたこと・・・。ほんとうにいろいろなことがあったなあ。職人もみんなよくがんばってくれたなあ。やっと世界で唯一のH様のお家が完成したんだなあ。そして今日これから引き渡し・・・。もう、ハンドルを握りながら、ひとりの車内で涙が止まらないんです。次から次へと涙があふれてくる。

晴れ着を着た娘のような新築のお家にて、引渡し式には多くの職人が出席してくれました。棟梁・基礎・屋根・板金・サッシ・左官・電気・住宅設備・給排水・断熱・材木・タイル・畳・木製建具・・・そして一人ひとり、このお家に向けた思いを述べました。『一生懸命造りました』『何かあったらすぐ飛んできます』『だいじに使ってください』『この家で幸せになってください』『どこよりもいい家だと思います』・・・なかでも棟梁は胸にこみ上げてくる感情を抑えることができませんでした。その姿に施主様も職人も、そしてぼくも・・・。引渡し式は、まさに娘の結婚式でした。



嫁いだ娘が気にならないわけがない。元気でやってるか、施主様とうまくやってるか・・・。だからぼくにとって『アフターサービス』は修理・修繕ではないんです。気になるんです。娘のことやそのお家に育まれる家族の成長が。ずっとずっとつながってほしいんです。理屈じゃないんです。経営とか経済とか利益とか、そんなんじゃないんです。『自分の娘に振り袖を着せたような家づくり』なんです。

やっぱりこみ上げてくるものって、一気に書きあがるものですね。今回のひとりごとは、目頭を熱くしながら、わずか1時間で書きあげられました。もしかしたら最短かも。これからは北澤工務店を見守ってください。ではまた。



可変性のある2階広間



『木』と『木の香り』が大好きなH様。その思いを反映存分に『木』を現したお家が完成しました。和室にも寝室にもさわらの腰板を張りめぐらし極太の構造材がそのまま見える真壁造りとなりました。



斜め貼りしたキッチン前のタイル、同色系の市松貼りは上品な感じです。

